

報道関係者各位(参考情報)

2022年1月4日

ファンケル 島田和幸社長 年頭訓示

「もっと広く、もっと高く、もっと先へ」

多様な力を結集し、失敗力と応援力で持続可能な未来へ

株式会社ファンケルの代表取締役社長 CEO 島田和幸は2022年1月4日、年頭にあたりグループ従業員への訓示を行いましたのでご報告いたします。



株式会社ファンケル
代表取締役 社長執行役員 CEO
島田 和幸

新年明けましておめでとうございます。

今年の干支は「壬寅(みずのえ・とら)」です。「壬」はエネルギーを蓄える、という意味があり、「寅」には、新しく動き始めた段階、という意味があります。「2022年」は、厳しい冬をいよいよ越えて、新たな成長に向けて動き出す段階に入る1年」ということです。

「虎は千里往って千里還る」と言われています。まさに「千里」を駆け抜けましょう。

今年のスローガン「もっと広く、もっと高く、もっと先へ」

「もっと広く」とは、一人ひとりが枠を拡げること。

部署や個人で役割を規定してはいけません。守備範囲をもっと広くし、新しい事業も拡げていきましょう。グローバルも加速します。

「もっと高く」とは、お客様との信頼、世の中からの信頼や期待をもっと深めて高めるということ。

そのためのデジタルでもあります。仕事の質も高めましょう。

「もっと先へ」とは、目の前だけを見てはいけないということ。

今の世の中の「不」や、新しいお客様の「不」の解消に終わりはありません。もっと何かできるはずです。やっつけていかなければ未来はありません。ファンケルグループはもっと先に行けます。未来を切り拓くために、今年はジャンプの年にします。

さらに、「ダイバーシティ&インクルージョン」を充実させていきます。

年齢や性別の分け隔てなく、障がいのある人もない人も、グローバル人材も、それぞれが活躍を実感でき、ファンケルの理念へ共感し、それを実現したいと集まった多様なメンバーが互いに認め合い、価値を創造していくことです。つまり、「多様な活躍力と結集力」です。

求められるのは、失敗しないのではなく、未来に向けた新しい取り組みを育み、応援していく「応援力」と失敗を恐れずに、やってみる「失敗力」。応援力無くして、失敗力無しです。

注力する3つのポイント「DX・ファンケルらしいOMO、海外事業・新規事業、人材育成」

今年のキーワードは、「DX、デジタル・トランスフォーメーション」と「ESG」だと言われています。この二つはファンケルが強みとする分野です。まさに、ファンケルにマッチするテーマです。私達の強みを磨き、このチャンスを掴み、未来へとつないでいく年にします。

その上で2022年、ファンケルが注力していくことは以下の三つです。

一つ目は「DX、デジタル・トランスフォーメーション＝ファンケルらしいOMOの前進」です。DXは、デジタル人材育成とITシステムのフル活用を通じて、ファンケルらしいOMOを前進させていきます。デジタル活用は、お客様を知り、つながっていくためのものでなければなりません。ファンケルの通信販売は、蓄積と進化を兼ね備えた強固なフルフィルメントです。独自の物流体制があり、通販に関わるすべての機能を担う豊富な通販人材が活躍しています。お客様とファンケルをつなぐ顧客基盤・分析システムとしてのFITがあります。デジタルを自分たちでコントロールし、お客様が求めるスピードに対応していきます。

二つ目は「海外事業への注力と新規事業へのチャレンジ」です。国内市場を見ると、今の化粧品・健康食品の事業だけで、私たちの明るい未来が描ける訳ではありません。未来のためには、海外での新たな成長が欠かせません。アテナアの越境ECと、ファンケルのサプリメント中国事業は、わずか3年で、大きく成長しました。そして、新しい事業にもいよいよ本気で取り組みます。今の事業は永遠ではありません。新しい事業にみんなが関与し、みんなで応援していくステージです。

最後は「人材育成と活躍の推進」です。今年から、一層、教育訓練のための費用を思い切って増やし、「人材への投資」を強化していきます。デジタル人材の育成は、デジタルに関わる部署に人を配置し、業務を通じて人を育成します。また、一層の女性活躍を促進し、若手に活躍の場を与えます。加えて今までのファンケルの成長を支えたシニアやベテラン層たちも、これからのファンケルで働きがいを見つけてほしいと考えています。

製販一貫体制のファンケルグループは、部門や役割、従業員一人ひとりの得意分野も多様です。一人ひとりの暮らし方や人生観もさまざまです。多様な考え方を認めて、受け入れ、活躍し合える先には、今年私たちが目指していく、ファンケルらしいOMO、グローバル推進、新たな価値の創造があるでしょう。

ファンケルにとっての2022年とは、「強みを磨いて、未来への布石を打ち、未来へつなげていく年」です。ダイバーシティ&インクルージョンを充実させて、VISION2030で目指す、世界中で愛される会社になるために、ファンケルの存在感を高めていきます。

本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先

株式会社ファンケル 広報部

TEL:045-226-1230 FAX:045-226-1202 / <https://www.fancl.jp/>